

【評価区分】Ⅳ：年度計画を達成している（達成率100%）Ⅲ：年度計画を概ね達成している（達成率80%以上）Ⅱ：年度計画を十分には達成できていない（達成率60%程度以上）Ⅰ：年度計画を達成できていない（達成率60%程度未満）

第3期中期計画	評価区分	令和6年度実績	令和7年度計画	評価区分	令和7年度計画達成状況	自己点検・評価委員会	評価区分 内部質保証推進会議
<p>2. 内部質保証</p> <p>【計画3】（企画部） 内部質保証の方針に基づき、本学における内部質保証システムを構築するため、「内部質保証推進会議」の機能強化を図る。</p> <p>「計画達成のための方策」 「内部質保証推進会議」が、全学的な内部質保証システムの要として機能するためにその権限と責任を明確化し、継続的にその機能強化を図る。</p> <p>「評価指標」 ・IR機能強化の状況、各種データの分析状況</p> <p>【計画4】（学長戦略本部・企画部） 教育の質保証の観点から、年度計画を着実に推進するとともに、自己点検・評価及び外部有識者による評価を行い、その結果を改善・充実に反映させる。また令和7年度に受審する大学基準協会の認証評価に適切に対応する。</p>	Ⅲ	<p>・令和6年度は、IR機能を強化するため、各学部・学科の教員から構成している「IR推進室運営会議」のメンバーから意見や取り組みを聴取する機会を増やした。「他大学研修会」や「高等教育に関する学会・研究会」などにおける活動報告、各学部・学会での教員や学生に向けた教学改善（研修・情報提供）などの事例を収集した。</p> <p>また、全学的な教学マネジメント体制を構築し、教育・学修の評価・改善活動の促進、教育・学修の質の保証と向上するために「大学全体・学位プログラム・授業科目」レベルでの学修成果の可視化となるデータについて、議論した。その結果、授業評価の「定性データ」からの分析が必要があると考え、学長裁量経費で獲得した予算で「質的データ分析ソフトウェア」を購入し、R6年度授業評価アンケートの定性分析を進めている。</p> <p>・2024年度 学生の学修に関する実態調査の回答率（継続）79.6% ・授業評価アンケートの回答率（継続）72.7%</p>	<p>【年度計画3】 「内部質保証推進会議」の権限と責任を明確化し、その機能強化を図るため、部局の現状等を更にエビデンスに基づき分析・評価できるよう、「学長戦略本部」と連携しIR機能の強化を図る。</p> <p>「評価指標」 ・IR機能強化の状況、各種データの分析状況</p>	Ⅳ	<p>IR推進室では、内部質保証推進会議の機能強化に資するため、学長戦略本部と連携し、各部局の現状をエビデンスに基づき分析・評価できる教学IR機能の強化を進めた。具体的には、令和7年度全国学生調査の結果について、回答者1,207名のデータを学部・学科別、学年別に集計・分析し、専門性、協働、成長実感等の強みと、外国語、数理・統計・データサイエンス、授業外学修、学生意見を踏まえた改善実感等の課題を明確化した。また、2025年度新入生プレースメントテストについて、英語・数学・国語および総合得点の記述統計を算出し、入学時点の基礎学力や学科・専攻別のばらつきを可視化した。さらに、卒業生アンケート、卒業生就職先アンケートの結果を整理し、卒業後の進路、教育理念の理解・達成、就職先から見た資質・能力等を把握した。これらの分析結果を内部質保証推進会議における検討資料として提示し、学修成果の可視化、初年次教育・学修支援、FD・SD、カリキュラム改善、情報公表につなげる基礎資料を整備した。以上により、IR機能の強化および各種データ分析は計画どおり進捗している。評価区分は「Ⅳ：年度計画を達成している」と判断する。</p>		

第3期中期計画	評価区分	令和6年度実績	令和7年度計画	評価区分	令和7年度計画達成状況	自己点検・評価委員会	評価区分 内部質保証推進会議
<p>「計画達成のための方策」 年度計画を着実に推進するとともに、令和7年度に受審する大学基準協会の認証評価に適切に対応するため、計画的に準備作業を進める。</p> <p>「評価指標」 ・令和7年度に受審する大学基準協会の認証評価の準備、評価結果</p> <p>【計画5】（企画部） 内部質保証の状況を、所要の学内会議に報告した上で、外部有識者等の意見等を踏まえ、本学の教育研究活動等の改善・向上を継続して推進するとともに、内部質保証に関する情報を学内外に公表し、大学としての説明責任を果たす。</p>	IV	<p>・令和7年度に受審する大学基準協会の認証評価に適切に対応するため、令和6年4月23日、令和7年1月15日に大学基準協会がWEBにて開催した「第4期機関別認証評価に関する実務説明会」等に、亀山学長、松浦事務局長、学長戦略本部 教学マネジメントDX 推進チーム及び企画部職員が参加し、次期認証評価に関し学ぶ機会を得た。またこの内容等を踏まえ、令和6年10月23日に開催した全学教職員のFD・SD活動である「東京医療保健大学を語る会」において、「令和7年度 大学基準協会認証評価の受審に向けた本学の取組等について」と題し、亀山学長及び松浦事務局長から説明し、情報共有を行った。</p> <p>・「教学マネジメントチェックリスト」及び「アセスメントプラン」に基づく「令和5年度点検・評価」結果を取りまとめた後、学長からの指示に基づき、各部局等の取組みについて具体の改善策等を「令和6年度教学マネジメントチェックリスト及びアセスメントプラン点検・評価報告書」として報告することとした結果、各学科対応分については令和7年1月15日開催の「内部質保証推進会議」にて、全学委員会対応分については令和7年2月19日開催の「内部質保証推進会議」にて、それぞれ報告・承認された。これらの取組みによりPDCAサイクルを構築し、本学の内部質保証システムの確立に努めた。</p> <p>・これらの取組みを行った上で、大学基準協会からの要請に基づき、「令和6年度点検・評価報告書」及び関連資料等を全学部等の協力を得て作成し、令和7年3月28日付けにて大学基準協会に提出した。</p>	<p>【年度計画4】 年度計画を着実に推進するとともに、令和7年度に受審する大学基準協会の認証評価に適切に対応するため、計画的に準備作業を進める。</p> <p>大学基準協会の認証評価を受審</p> <p>「評価指標」 ・令和7年度に受審する大学基準協会の認証評価の準備、評価結果</p>	III	<p>・令和7年度は、大学基準協会による認証評価を受審し、「東京医療保健大学に対する大学評価(認証評価)結果」として、令和8年3月に、是正勧告2件、改善課題3件の指摘を受けたものの、基準4/教育・学習に関しては、「建学の精神を実現する教育DXの推進を単なる技術導入にとどめず、教育理念と結びつけながら、実践教育として体系的に展開している点は、学習成果の可視化と教育の質を高める取り組みとして評価できる。」と「長所」としてプラス評価されたこともあり、結果、本学は大学基準協会の大学基準に適合していると認定されたところである。</p> <p>・是正勧告等の指摘事項に対しては、令和11年中に提出が義務付けられている「改善報告書」提出時まで、スケジュール管理の上で、全ての指摘事項等の計画的改善を図ることとする。</p>		

第3期中期計画	評価区分	令和6年度実績	令和7年度計画	評価区分	令和7年度計画達成状況	評価区分	自己点検・評価委員会	評価区分	内部質保証推進会議
<p>「計画達成のための方策」 毎年度、内部質保証の状況を、外部有識者等が委員を務める外部評価委員会、大学経営会議、理事会・評議員会等の学内会議に報告し、会議での意見・提言等を踏まえて、本学の管理運営及び教育研究活動等の改善・向上を継続して推進する。また、点検・評価の結果等を含め、内部質保証に関する情報をホームページにおいて公表する。</p> <p>「評価指標」 ・外部評価委員会等の開催状況及びホームページにおける公表状況</p>	IV	<p>・令和5年度に係る自己点検・評価については、 ①第3期中期目標・計画に基づく「令和5年度点検・評価報告書」については、令和6年5月8日開催の「内部質保証推進会議」及び「大学経営会議」及び令和6年5月22日開催の「理事会・評議員会」において審議・承認され、 ②「教学マネジメントチェックリスト」及び「アセスメントプラン」に基づく「令和5年度点検・評価報告書」については、令和6年7月10日開催の「内部質保証推進会議」及び「大学経営会議」において、審議・承認された後、 ・令和6年9月24日開催の「外部評価委員会」において、事前に提出いただいた委員からのご意見等に対する回答・対応等を中心に質疑応答を行ったところであり、委員からご指摘いただいた点は次年度の計画等に反映することで、教育研究活動等の継続的な改善等を図ることとした。 ・「令和5年度点検・評価報告書」はいずれも大学HPに公開している。</p>	<p>【年度計画5】 内部質保証の状況を、外部有識者等が委員を務める外部評価委員会、大学経営会議、理事会・評議員会等の学内会議に報告し、会議での意見・提言等を踏まえて、本学の管理運営及び教育研究活動等の改善・向上を継続して推進する。また、点検・評価の結果等を含め、内部質保証に関する情報をホームページにおいて公表する。</p> <p>「評価指標」 ・外部評価委員会等の開催状況及びホームページにおける公表状況</p>	IV	<p>・令和6年度に係る自己点検・評価については、令和7年度の大学基準協会による認証評価に適切に対応する必要があることから、作業全般を少し後送りにすることとした上で、 ①第3期中期目標・計画に基づく「令和6年度点検・評価報告書」については、令和7年9月3日開催の「内部質保証推進会議」及び「大学経営会議」及び令和7年9月24日開催の「理事会・評議員会」において審議・承認され、 ②令和6年度「教学マネジメントチェックリスト」及び「アセスメントプラン」に係る点検・評価については、令和5年度の点検・評価結果に基づき「学長が改善等が必要と判断した事項等」について令和6年度中に点検・評価を実施済みである。 ・令和7年10月22日開催の「外部評価委員会」において、事前に提出いただいた委員からのご意見等に対する回答・対応等を中心に質疑応答を行ったところであり、委員からご指摘いただいた点は次年度の計画等に反映することで、教育研究活動等の継続的な改善等を図ることとした。 ・「令和6年度点検・評価報告書」はいずれも大学HPに公開している。</p>				